

# 井戸掘り職人



## あるあるネタ

- ・地面を見ると「ここは水脈が近そうだ」と職業目線で考えてしまう。
- ・「水道があるのに、まだ井戸って必要なの？」とよく聞かれる。
- ・掘削機や道具の音を聞くと、体が自然にリズムを刻んでしまう。

## 初期の失敗

新人の頃、掘削作業で泥水の飛び散りを甘く見ていて、全身ドロドロになってしまいました。先輩に「井戸掘りはまず泥と仲良くなれ」と笑われたのを今も覚えています。

## 職業病

日常生活でも庭や空き地を歩くと、地面の硬さや湿り具合を無意識に確かめてしまう。

## 健康問題

長時間の肉体労働による腰痛や関節痛、泥や砂ぼこりによる呼吸器系の負担、夏場は熱中症、冬場は体の冷えに悩まされやすいです。

## その職業に就いている人を讃える

「あなたは大地の奥から命を届ける“水脈の探求者”ですね。重労働をいとわず、人々の暮らしに欠かせない水を引き出す姿はまるで地底の魔法使い。泥だらけになりながらも笑顔で掘り進めるその姿は、地域の命綱そのものです。どうか腰と喉を大切に、これからも人々に清らかな恵みを届け続けてください」